

# 世界史

【第1問】南アジア世界と東南アジア世界の展開に関する次の文章 A と B を読むとともに、地図【I】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

紀元前6世紀頃にガンジス川流域で、城壁で囲まれた都市国家がいくつも生まれ、コーサラ国につづいてマガダ国が有力となった。マガダ国では(a)仏教や(b)ジャイナ教が誕生した。

前4世紀末になると、南アジアで最初の統一王朝である(c)マウリヤ朝が登場した。マウリヤ朝が衰退すると、紀元後1世紀にバクトリア地方からクシャーン人が進出し、クシャーン朝を建てた。王朝の最盛期は2世紀半ばの（ア）が支配していた時代であった。クシャーン朝の保護を受けた大乘仏教は各地に伝えられ、日本にも影響を与えた。3世紀にクシャーン朝は西をイランの（イ）に奪われ、東で地方勢力が台頭したことにより、滅亡した。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ヴァルダマーナ
- ②ガウタマ＝シッダールタ
- ③カニシカ王
- ④竜樹（ナーガールジュナ）

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ササン朝
- ②サータヴァーハナ朝
- ③チョーラ朝
- ④パーンディヤ朝

問3 下線部(a)仏教に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：心の内面から人間の悩みを解くことを重視した。

Y：正しい行為を実践して煩惱を捨て去ることによって解脱しうると説いた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問4 下線部(b)ジャイナ教に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：解脱のために苦行と不殺生を強調した。

Y：ヴァルナ制という身分的上下観念を肯定した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(c)マウリヤ朝に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：創始者はアショーカ王であった。

Y：チャンドラグプタ王の時代に最盛期を迎えた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

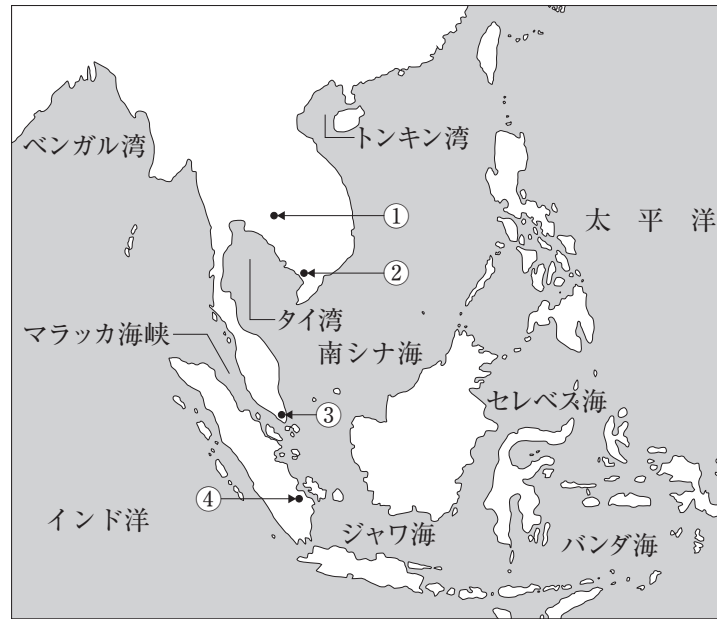
## B

東南アジアでは、前4世紀に(d)ドンソン文化が発展した。紀元後1世紀末に扶南がメコン川下流域に建国されたが、6世紀にカンボジアに滅ぼされた。カンボジアは9世紀以降、(e)アンコールに都をおいた。

チャオプラヤ川下流域では、7世紀から11世紀頃にドヴァーラヴァティー王国が発展し、13世紀半ばにはタイ北部にスコタイ朝がおこった。これらの国家は（ウ）を信仰した。

諸島部では、7世紀半ばに、スマトラ島のパレンバンを中心にシュリーヴィジャヤが成立した。この国家は海上交易を積極的におこない、（エ）に朝貢使節を派遣した。（オ）は、（エ）から南アジアへの往復の途中でシュリーヴィジャヤに滞在している。

地図【I】



問6 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①イスラーム教
- ②キリスト教
- ③上座部仏教
- ④大乘仏教

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①殷
- ②周
- ③秦
- ④唐

問8 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①王羲之
- ②義浄
- ③顧愷之
- ④陶淵明

問9 下線部(d)ドンソン文化に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：ベトナム北部を中心に鉄製農具を生み出した。

Y：青銅製の銅鼓は、ベトナム北部でのみ発見されている。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問10 下線部(e)アンコールの位置として最も適当なものを、地図【I】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

【第2問】アジアの諸帝国の繁栄に関する次の文章 A と B を読むとともに、地図【Ⅱ】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

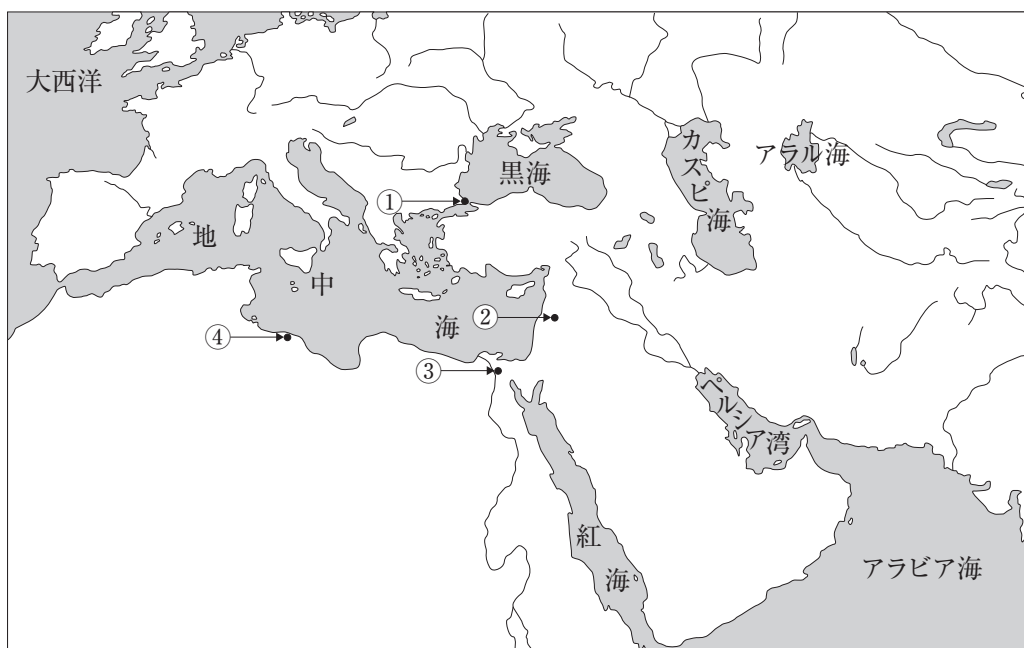
A

1453年にオスマン帝国のメフメト2世は、(a)コンスタンティノープル（のちのイスタンブル）を攻略してビザンツ帝国を滅亡させてから、バルカン半島とアナトリアで中央集権的な支配をおこなった。

16世紀のオスマン帝国では、(b)スレイマン1世が積極的な拡大政策を推進した。その後、17世紀に拡大は終わり、領土が安定した。オスマン帝国の人々は、(c)イスラーム法とカーヌーンのもとで生活した。

イラン高原では16世紀初めにイスマーイール（1世）がサファヴィー朝を建国した。（ア）が16世紀後半に即位してから、サファヴィー朝は最盛期を迎えた。（ア）が新たな首都とした（イ）は「世界の半分」といわれるほど繁栄した。

地図【Ⅱ】



問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アッバース1世
- ②アブデュルハミト2世
- ③アルダシール1世
- ④アンリ4世

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アルジェ
- ②イスファハーン
- ③メッカ
- ④メディナ

問3 下線部(a)コンスタンティノープル（のちのイスタンブル）の位置として最も適当なものを、地図【Ⅱ】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

問4 下線部(b)スレイマン1世に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：ランカスター家がおさめるオーストリアのウィーンまで進軍した。

Y：トラファルガーの海戦でヴェネツィアなどを撃破した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(c)イスラーム法とカーヌーンに関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：イスラーム法はキリスト教徒やユダヤ教徒に対する支配の原則を定めなかった。

Y：カーヌーンは徴税や住民の義務など、統治分野について規定した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

B

16世紀前半の南アジアでは、(d)バーブルがムガル帝国の基礎を築いた。とはいえ、ムガル帝国の実質的な建設者は、第3代皇帝(e)アクバルであった。

ムガル帝国では、さまざまな文化の融合がみられた。たとえば、公用語の（ウ）と地方語がまざってウルドゥー語が生まれた。建築においても、インド様式とイスラーム様式が融合した（エ）などがつくられた。

ムガル帝国は、第6代皇帝アウラングゼーブの時代に最大領土となった。しかし、西インドでヒンドゥー国家の建設をめざす（オ）があらわれ、西北インドでシク教徒が強大になり、18世紀初めにアウラングゼーブが死去すると、ムガル帝国は解体に向かっていった。

問6 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ウイグル語
- ②ウズベク語
- ③トルコ語
- ④ペルシア語

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アルハンブラ宮殿
- ②タージ＝マハル
- ③ナーランダール僧院
- ④パルテノン神殿

問8 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ガーナ王国
- ②ソンガイ王国
- ③マラーター王国
- ④マリ王国

問9 下線部(d)バーブルに関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 19

X：中央アジア出身で、ダライ＝ラマ13世の子孫であった。

Y：カイロネイアの戦いでデリー＝スルタン朝最後のロディー朝に勝利した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問10 下線部(e)アクバルに関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 20

X：支配階層の組織化をはかり、マンサブダール制を廃止した。

Y：非イスラーム教徒への人頭税（ジズヤ）を廃止した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

【第3問】第一次世界大戦とロシア革命に関する次の文章 A と B を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

1908年の青年トルコ革命によるオスマン帝国の混乱に乗じて、オーストリアが(a)1878年のベルリン会議で行政権が認められていたボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合したことは、セルビアの反発を招いた。ドイツ・オーストリアのパン＝ゲルマン主義と、ロシア・セルビアのパン＝スラヴ主義の対立を背景として、1912年にセルビア・ブルガリア・モンテネグロ・ギリシアは、ロシアの後援を得て(b)バルカン同盟を結成した。

1914年にオーストリアの帝位継承者夫妻をセルビア人が暗殺すると、オーストリアはセルビアに宣戦した。ドイツはセルビアを後援するロシアに宣戦し、フランスとイギリスもロシアに味方して、(c)第一次世界大戦が始まった。

第一次世界大戦中、列強は秘密条約にもとづく戦時外交を展開した。たとえば（ア）がアラブ人とユダヤ人にオスマン帝国領内での国家建設を約束したことは、パレスチナ問題の原因となった。

また、大戦は、戦闘員だけでなく一般社会のひとびとも動員する総力戦となった。総力戦体制を支える挙国一致体制がつくれ、各国の社会主義政党も自国の政府を支持し、（イ）は崩壊した。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 21

- ①アメリカ合衆国
- ②イギリス
- ③ドイツ
- ④フランス

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 22

- ①コルホーズ
- ②ソフホーズ
- ③第1インターナショナル
- ④第2インターナショナル

問3 下線部(a)1878年のベルリン会議に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：ロシア = トルコ戦争後にビスマルクが開催した。

Y：サン = ステファノ条約が破棄された。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問4 下線部(b)バルカン同盟に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：クリミア戦争に乗じてオスマン帝国に宣戦し、1913年に勝利した。

Y：オスマン帝国に勝利した後、ギリシアとほかの同盟諸国のあいだで戦争が勃発した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(c)第一次世界大戦に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：ドイツ軍はパリを占領しかけたが、ゲティスバーグの戦いで仏英両軍に阻止された。

Y：ドイツ軍はタンネンベルクの戦いでロシア軍を撃破した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

B

(d) ウイルソンが大統領だったアメリカ合衆国は、大戦が始まったときは中立だったけれども、1917年から協商国側（イギリス・フランス・ロシア側）で参戦した。その後、協商国側が優位に立ち、1918年に同盟国側（ドイツ・オーストリア側）は降伏した。ドイツではキール軍港の水兵反乱を契機としてドイツ革命がおこり、帝政は打倒され、(e) ヴィルヘルム 2 世は亡命した。

1917年3月、ロシアの前線での敗退と食糧危機を背景として、首都ペトログラードで労働者と兵士が反乱をおこすと、(ウ)は退位した。これを二月〈三月〉革命という。その後、自由主義者が主導して臨時政府ができたけれども、11月にレーニンとトロツキーの指導するボリシェヴィキがペトログラードで武装蜂起し、臨時政府を打倒して社会主義政権を樹立した。これを十月〈十一月〉革命という。

レーニンは、1918年にボリシェヴィキから改称した(エ)による一党独裁を確立した。また、1919年には、社会主義革命を世界に広げるため、(オ)を創設した。

問6 空欄(ウ)に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ニコライ1世
- ②ニコライ2世
- ③ピョートル1世(大帝)
- ④ミハイル＝ロマノフ

問7 空欄(エ)に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①共産党
- ②社会党
- ③社会民主党
- ④労働党

問8 空欄(オ)に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①北大西洋条約機構
- ②コミンテルン
- ③コメコン
- ④ワルシャワ条約機構

問9 下線部(d)ウィルソンに関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 29

X：「新しい自由」を掲げて反トラスト法の強化などを実施した。

Y：アメリカ民主主義の道義的優位を主張して「宣教師外交」を展開した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問10 下線部(e)ヴィルヘルム2世に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 30

X：3C政策を掲げて、帝国主義政策を追求した。

Y：社会主義者鎮圧法を廃止した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

【第4問】地域統合と地域紛争に関する次の文章AとBを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

特定の地域に存在する諸国家の組織としては、(a)アフリカ統一機構（OAU）のように特定地域を包括した、対話を主目的とする組織がある。ヨーロッパでは、20世紀後半の(b)ヨーロッパ共同体（EC）から(c)ヨーロッパ連合（EU）への進展が、国民国家を乗り越える企図として注目された。

北米自由貿易協定（NAFTA）は1994年に発効した、カナダ・アメリカ合衆国と（ア）の3国からなる自由貿易圏である。それは経済発展段階や賃金水準が異なっても統合が可能であることを示した点で画期的であり、以後の地域統合のモデルとなった。東南アジア諸国は1997年から「ASEAN+3」という枠組みを通じて（イ）の3国と協力関係を強化している。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①キューバ
- ②ジャマイカ
- ③バハマ
- ④メキシコ

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アメリカ合衆国・オーストラリア・日本
- ②アメリカ合衆国・中国・日本
- ③韓国・中国・日本
- ④ロシア・中国・日本

問3 下線部(a)アフリカ統一機構（OAU）に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：1963年、アフリカ諸国首脳会議に60か国が参加して、結成したものである。

Y：内政不干渉を原則とし、ビアフラ紛争など大規模内戦型紛争に関与しなかった。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問4 下線部(b)ヨーロッパ共同体 (EC) に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 34

X：1967年にマーストリヒト条約を締結して、成立したものである。

Y：1969年に共通通貨ユーロを導入した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(c)ヨーロッパ連合 (EU) に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 35

X：2005年、EU 新憲法批准のための国民投票では、フランスなどが反対を表明した。

Y：2016年、イギリス国民は国民投票で、EU から離脱することを支持した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

## B

1980年にイラクのフセイン大統領は、(d)イラン = イスラーム革命後のイランを攻撃し、イラン = イラク戦争が勃発した。1988年の停戦後、この戦争で財政難におちいったフセインは、1990年に隣国クウェートの併合を宣言した。国連安全保障理事会はクウェートを解放するための武力行使を容認し、それにもとづいて組織された多国籍軍が1991年にクウェートを解放した。これを(e)湾岸戦争という。

1991年以降、ユーゴスラヴィアは内戦状態にあったが、国連安全保障理事会の決議が機能せず、NATO 軍がユーゴを空爆して (ウ) 軍をコソヴォから撤退させ、2008年にコソヴォは独立を宣言した。

アフリカでは、1980年代からソマリアで内戦が続き、1990年にはルワンダでも内戦が始まった。そうしたなかで、日本政府は1993年に (エ) を開催し、アフリカ支援を積極的に主張した。

ムスリムが多数を占める国では、大国の介入によって抵抗運動がうまれた。1979年にソ連が (オ) に侵攻して、共産主義政権を支援すると、全土で抵抗運動が激化し、ソ連軍の撤退後に、イスラーム主義のターリバーンが台頭した。

問6 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①クロアチア
- ②スロヴェニア
- ③セルビア
- ④ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アジア＝アフリカ会議（バンドン会議）
- ②アフリカ開発会議（TICAD）
- ③アフリカ諸国首脳会議
- ④パン＝アフリカ会議

問8 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アフガニスタン
- ②イエメン
- ③オマーン
- ④サウジアラビア

問9 下線部(d)イラン＝イスラーム革命に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：シーア派の宗教指導者ホメイニのもとでイラン＝イスラーム共和国を成立させた。

Y：反米主義をとり、ソ連に依存した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問10 下線部(e)湾岸戦争に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 40

X：イランを主力とする多国籍軍が、クウェートを解放した。

Y：戦争中に、日本は自衛隊の掃海艇によりペルシャ湾で機雷を除去した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤